

代表質問



総務文教常任委員会代表
池田 宏

質問

委員会を代表して町長の施政方針に対して質問をいたします。町長は「昨年12月10日に就任以来豪雪の中で3月が過ぎようとしているが、その間改めてこの職務の重責を痛感しています。今後も謙虚さを失うことなく、公平且つ誠実な行政執行に努めて行く」とありますが、町長は町行財政改革を3年で行うとしており、謙虚と公平に加えて、大胆且つ迅速に対応して行く、との決意の言葉を聞いてほしかったと思います。湯沢町の救世主として立ち上がったのでありますから、「命惜しむなその名を残せ」として果敢な攻めと実行の発揮を願います。

町長答弁

就任以来豪雪の中で3ヶ月が過ぎようとしていますが、幸いにも湯沢町は人的な被害が無く安心をしています。今後も謙虚さと公平かつ誠実をもって、行政執行に努めて行きますので宜しくお願ひします。

質問

住民負担の増加を避けながら行政改革が出来るのか。

町長答弁

国も地方もまさに変革の時を迎えています。障害者等の福祉施策を介護保険制度に融合させて運営することや、年金制度の改革など国の施策がどんどん変わろうとしています。そのような中で将来を見越す事は難しいことですが、我が町の財政事情を町民に分かり易く早い機会に伝えて、使用料等の見直しや受益者負担の適正化など慎重に対応していきます。歳入の増を図り歳出の抑

制と、行政のスリム化に努力していきます。

質問

職員の意識改革を行い、庁舎等の清掃は職員で行い清掃費4千600万円の削減を計れないか。

町長答弁

清掃費の全額は掴んではいないが縮減はしています。毎日行っていた清掃を新年度では、庁舎の東館と西館を半日ずつ1日おきの清掃にし、事務室やロッカーなど清掃業者がいけない時は、三部署に分けて、職員が清掃をして行くように考えています。全廃にするかどうかは今後、果敢に検討していきます。

質問

自主防災組織の育成をどのような方法で行うのか。

町長答弁

17年度より町内会に自主防災組織化を依頼している。県の補助事業を活用して資材等の整備を図

り自主防災訓練にも協力して行く。今冬の豪雪の体験も反省しながら今後に繋げて行きたい。

質問

職員相互派遣交流事業はどのような方法で行うのか。

町長答弁

新潟県が新年度から収納業務の人事交流を県下6市町村で実施、町職員は南魚沼地域振興局の県税務収税課に勤務し、徴収技術を習得するものである。

質問

ゴミを出さない循環型社会とはどのような方法で行うのか、ディスプレイ及びコンポスタなどの普及はどのように考えているか。

町長答弁

湯沢町からごみの量を減らす為に、ごみの元になるものは買わない、過剰包装はしない、また生ごみについてはコンポストやディスプレイの導入

奨励などに対応して行きます。

質問

国際交流事業は、中学生の派遣だけであれば教育部にすべきであるし、事業はできる限りのオープンにすべきと思うがどうか。

町長答弁

中学生の海外派遣事業は教育委員会が主幹をするが、町長部局と連携をして行くとし、事業はオープンで行います。

質問

童画展は10回を迎えたが、町全体が童画の町となるような取り組みをどのように広めて進めていくのか。

町長答弁

10年を迎え、全国的にも評価を受けています。現在9ヶ所に展示をしているが、今年度は更に展示箇所の増を行い、童画の町づくりをして行きたいと思えます。